

情報提供

那医発第12号
令和4年4月8日

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



B型肝炎ワクチンの供給見込みについて

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。
沖縄県医師会を通じて「B型肝炎ワクチンの供給見込みについて」の通知が届きましたのでご案内申し上げます。つきましては、別添資料を当会ホームページに掲載致しますので、お手数ですがダウンロードをお願いいたします。また、インターネットに対応していないなど紙ベース（印刷物）での提供をご希望の際は、お手数ですが、下段（FAX）にて那覇市医師会・事務局までお申し込みいただきますようご案内申し上げます。

☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：石垣・前泊 / 電話 098-868-7579）

..... 記

沖医発第31号
令和4年4月6日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会
副会長 宮里達也

B型肝炎ワクチンの供給見込みについて

今般、日本医師会から標記文書の発出がありましたのでご連絡致します。
本件は、KMB社のビームゲン注及びMSD社のヘプタックス-II 彗星懸濁注シリンジの供給見込みが両者より示された旨の通知となっております。
令和4年中の0.25mL製剤の供給見込み量は両社の製品を合わせて約237.9万本となっており、小児の定期接種に必要な量のワクチンは、ほぼ確保できている状況であるとのことです。
つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴管下関係医療機関等への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- B型肝炎ワクチンの供給見込みについて（令和4年4月1日(日医発第102号(健II))）

※関係文書は文書管理システムへ掲載致します。

沖縄県医師会事務局業務2課:平良、高良
TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089
g2@okinawa.med.or.jp

☆ B型肝炎ワクチンの供給見込みについて（5項）

Q1. 別添資料の紙ベース（印刷物）での送付について（ 1. 送付を希望する）

施設名 :

FAX送付先 : 098-867-3750

日医発第 102 号（健Ⅱ）
令和 4 年 4 月 1 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 范 敏

B型肝炎ワクチンの供給見込みについて

標題については、ヘプタバックス-Ⅱ水性懸濁注シリンジ 0.5mL の供給が再開された旨、令和 3 年 4 月 22 日付（健Ⅱ 52F）をもってお知らせしているところです。

今般、KMB 社のビームゲン注及び MSD 社のヘプタバックス-Ⅱ水性懸濁注シリンジの供給見込みが両社より示され、別添の通り厚生労働省より各都道府県等衛生主管部宛て事務連絡がなされ、本会へも周知依頼がありましたのでご連絡申し上げます。

なお、令和 4 年中の 0.25mL 製剤の供給見込み量は両社の製品を合わせて約 237.9 万本となっており、小児の定期接種に必要な量のワクチンは、ほぼ確保できている状況であるとされています。

また、B 肝ワクチンの効率的な活用及び円滑な流通のため、安定供給対策について、医療機関に対し、引き続き下記の対応への協力を求めています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会および関係医療機関等に対する情報提供について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 必要量に見合う量のワクチンを購入すること
- 小児の定期接種には可能な限り 0.25mL 製剤を使用すること
- ヘプタバックス-Ⅱ水性懸濁注シリンジ 0.5mL は、プレフィルドシリンジ製剤であり、0.25mL を抜き取って使用できないため、小児の定期接種には使用しないこと

※小児に対して 0.25mL を投与すべきところ、誤って 0.5mL を投与した旨の間違い事例が令和 3 年度中に 3 件報告されています。

事 務 連 絡
令和4年 3月30日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康局健康課

B型肝炎ワクチンの供給見込みについて

標記について、今般、別添のとおり、都道府県衛生主管部（局）宛てに事務連絡を发出したところでは、

関係各位におかれましては、別添について、貴管下の会員各位に対し周知するとともに、ワクチンの円滑な流通について、関係者との連携に努めていただくようお願いいたします。

事務連絡
令和4年3月30日

各 { 都道府県
市町村
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

B型肝炎ワクチンの供給見込みについて

B型肝炎ワクチンの供給状況等については、「組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）「ヘプタボックス-II 水性懸濁注シリンジ 0.5 mL」の供給再開について（更新情報）」（令和3年4月21日付厚生労働省健康局健康課事務連絡）においてお示したところです。

今般、KM バイオロジクス株式会社（以下「KMB 社」という。）のビームゲン注及びMSD 株式会社（以下「MSD 社」という。）のヘプタボックス-II 水性懸濁注シリンジの今後の供給見込みが両社から示されましたのでお知らせします。

引き続き、B型肝炎ワクチンの効率的な活用及び円滑な流通に資するため、下記について十分に留意いただいた上で、定期接種の円滑な実施について、御協力いただきますようお願いいたします。

記

1. B型肝炎ワクチンの供給の現状と今後の見込み

B型肝炎ワクチンについては、KMB 社及びMSD 社の2社が製造販売承認を受けており、両社の製品が国内市場に供給されています。両社の製品の令和4年における供給実績及び供給見込みを次のとおり示します。

B型肝炎ワクチンの定期接種については、原則として、1歳に至るまでの間に0.25mLの接種を3回行うこととされています。令和4年中の0.25mL製剤の供給見込み量は両社の製品を合わせて約237.9万本となっており、小児の定期接種に必要な量のワクチンは、ほぼ確保できている状況です。

【令和4年4月時点】

卸への供給実績 又は供給見込み	0.5mL バイアル製剤 (KMB社： ビームゲン 注)	0.5mL シリンジ製剤 (MSD社： ヘプタバック ス-Ⅱ)	0.25mL バイアル製剤 (KMB社； ビームゲン 注)	0.25mL シリンジ製剤 (MSD社： ヘプタバック ス-Ⅱ)
令和4年1月～3月	33.9万本	4.8万本	6.4万本	24.5万本
令和4年4月～6月	20.1万本	15.7万本	9.0万本	52.2万本
令和4年7月～9月	20.1万本	5.6万本	9.3万本	63.3万本
令和4年10月～12月	20.1万本	3.8万本	9.3万本	63.9万本
	0.5mL 製剤合計		0.25mL 製剤合計	
令和4年1月～12月 供給見込み	128.2万本		237.9万本	
(参考) 令和3年1月～12月 供給実績	164.7万本		112.6万本	

2. B型肝炎ワクチンの安定供給対策について

0.25mL 製剤により、小児の定期接種に必要な量のワクチンは、ほぼ確保できている状況を踏まえ、医療機関におかれましては、ワクチンの安定供給対策に向けて次のとおり御協力いただきますようお願いいたします。

- ① 必要量に見合う量のワクチンを購入いただくようお願いします。
- ② 小児の定期接種には可能な限り0.25mL 製剤の使用をお願いします。小児に対して0.25mL を投与すべきところ、0.5mL 製剤を使用したため、誤って0.5mL を投与した旨の間違い事例が令和3年度中に3件報告されています。なお、ヘプタバックス-Ⅱ水性懸濁注シリンジ0.5mL は、プレフィルドシリンジ製剤であり、0.25mL を抜き取って使用することはできないため、小児の定期接種には使用しないでください。